

令和5年度 決算審査特別委員会

決算審査特別委員会を9月6日に開きました。
この委員会は、議長と議会選出の監査委員を除く議員14人で構成し、町長をはじめ関係職員の出席を求め、各会計の決算について、慎重に審査しました。その結果、全ての会計について全会一致で認定すべきものと決定しました。(3ページに関連記事)

税とくらし

Q 町民税の納税義務者数と非課税者数は。

A 15,136人で非課税者は7,607人。

Q 臨時財政対策債が大幅に減額されているが理由は。

A 令和5年度、国から償還金として普通交付税の追加があり、その分、減額となった。

Q 不法投棄対策の内容は。

A 定期的にパトロールをし、道路端の物は撤去している。回収が困難な場所については撤去しない。

Q 西国街道の子どもガイドの参加数は。

A 2名。

Q ふるさと納税の返礼品にかかる経費は、寄附金額の何パーセントとしているのか。

A 発送費などを含めて約50パーセント以内としている。



ふるさと納税返礼品の一部です



数は大丈夫かな？

Q 防災備蓄として簡易トイレの数は。

A 昨年度は500個追加し、8,518回分を備蓄している。

Q 高齢者ゴミ出し支援時の声かけ依頼は何人からあったか。

A 50人。返答が無い場合は、介護事業所を通じて安否確認した。

健康と福祉

Q 自殺者の年代は。

A 若年層11人・中高年層6人・高齢者層9人

Q 心と体のハッスル教室の参加者の年代は。

A 70代が多い。



講座形式で学びました

Q ぐらしの安心・サポートセンター運営事業での支援の内容は。

A 家計の支出に問題がある方には、家計改善のための支援をするなど、それぞれに合ったプランを作って支援した。

Q 障がい者支援事業のペアレント・トレーニング講座の定員は。再受講者はいたか。

A 定員6名で5名が受講。再受講者は1名いた。

Q 福祉タクシー券の利用率は。

A 31・6パーセント。

Q タクシーとは別の施策は考えないのか。

A 考えていなかった。



黒い雨で申請が増えています

Q 被爆者健康手帳の交付申請受付件数が57件となっているが、結果は確定していないのか。

A 全員の結果が年度内に確定しているわけではない。

Q 子育て支援パスポート事業の店舗数は増えたのか。

A 3店舗増え、76店舗になった。

Q 妊産婦・乳幼児健康診査の受診率は。

A 1歳6か月児健診が98・12パーセント。未受診者については、保健師が訪問して対応している。

Q 高齢者いきいき活動ポイント手帳の申請率は。

A 0・5ポイント増加し、36・7パーセント。

Q 子どもの予防的支援構築事業のA1を活用した見守りシステムの成果は。

A 「ややリスクあり」と判断した未就学児が31名おり、就学時健康診断などで様子を見た。

Q 町営住宅使用料の滞納分はどのくらいなのか？

A 年度末には未払いがあったが、早い時期に完納された。

Q 都市計画費が、当初予算に対して不用額が多いが。

A 下水道事業会計への繰出金が見込を下回ったことなどによる。

Q 町有地の道路などの除草整備はいつ、どのように行ったのか？

A 6月と9月のほか、住民からの要望により行った。



早く刈ってね！

まちづくり

教 育



猿ワナです

Q LINEと連携した道路の破損
通報は何件あったか。
A 20件

Q 森づくり事業ではどのあたりの
放置林を整備したのか。
A 石原地区

Q 鳥獣駆除奨励金の内訳は。
A イノシシ73頭、シカ16頭、サル
3匹、タヌキ1匹、アナグマ9
頭

Q 不登校者数が増加しているが、
令和5年度の人数と対応は。

A 57人で、適応指導教室で13人、
広島県教育支援センター「ス
クールS」との連携で5人対応。
スクールカウンセラーとも連携
し対応した。

Q 英語指導助手の数と、英語を
母国語とする人材はいるのか。
A 1名で、英語を母国語としてい
る人材。

Q 学力向上のため、どのような授
業改善を行ったか。

A 子どもが考える時間を増やし、
ICT活用を強化した。

Q 南小の遊具更新の内容は。
A 複合遊具1つを撤去し、山形
肋木とジャングルジムを設置し
た。

Q 中学校の備品購入費が減少して
いる理由は。

A 学校からの希望により、増減が
ある。

Q コグトレ（認知機能トレーニン
グ）の活用は。

A 通級指導教室で約70人、特別
支援学級で約50人が利用し、
見る力・聞く力が改善した。



ジャングルジムと山形肋木です

Q 新規購入の電子黒板とタブレッ
トの活用は。

A 電子黒板は、各学校の特別教
室へ、タブレットは、人数増加
分を各学校へ配置した。

Q ふるさと館展示室リニューアル
事業の成果は。

A 来場者数が、令和4年度5、
410人だったのに対し、令和
5年度は、7,009人と増加
した。



子どもたちは使えています